

生命科学を学ぶ、環境を学ぶ、食と農を学ぶ 京都先端科学大学バイオ環境学部の新しさとは？

これからの時代、専門性を高めるだけで十分なの？

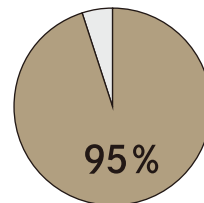
答えは「+ 英語力」

01

本学在校生の 95% が「英語力を高めたい」と感じています。

英語の力をもっと伸ばしたい 20%
苦手だけれども英語をやらなければ…と思う 75%

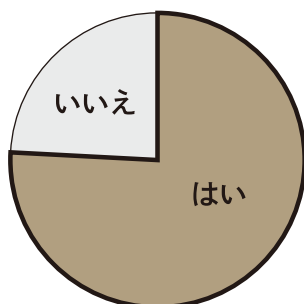
※京都学園大学調べ



大企業はもちろん、バイオ環境学部が独自調査した
中小企業の 3 社に 2 社が「+ 英語力」を重視しています。

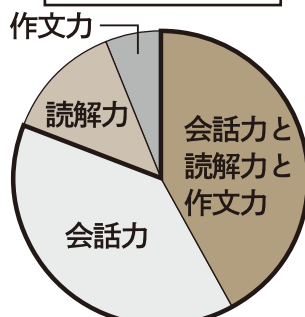
02

英語力は必要？



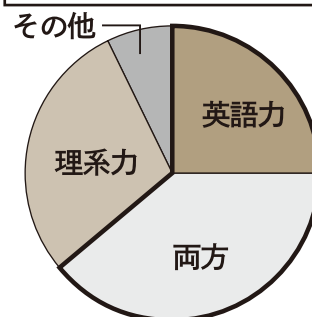
英語力は必要：76%

どんな英語力が必要？



英会話力重視：81%

理系力と英語力、どちらが重要？



英語力重視：68%

※(従業員 10-100 名規模の会社 29 社 (食品・医薬品メーカー 13 社、その他 16 社) に実施した 2018 年バイオ環境学部独自調査より)

03

グローバル社会となった現在、
専門性だけでは活躍の機会を
得にくくなっています。

我々のような中小企業でも、日本国内だけでは運営
できない時代になっており、販売する市場において
も、資材調達においても、研究開発の発表や情報収
集においても、英語力の必要度は
高くなっています。理系で英会話
力がある人材は引く手あまたです。



自分の専門とそれをグローバル水準に引き上げるべ
く、語学力が必要です。社内では、そのような人材
を「ダブルメジャー人材」と呼んでおり、大変有益



な人材です。学生のみなさんには、
人には絶対負けないスキルと、そ
れを発信するツールとして語学力
を重視して欲しいと考えています。

京都先端科学大学 バイオ環境学部は、
みなさんの可能性を大きく育みます。

新しい価値を創造する「理系の考え方」と「学び続ける力」を
身につけ、違う世界の人たちの輪の中でコミュニケーション力
を発揮し、多様な個性と能力を発信できる英語力で、「あらゆる
個性」を「社会が求める力」に変えていきます。

生命科学・環境・食と農

